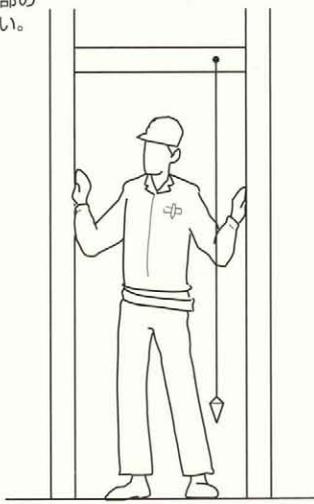


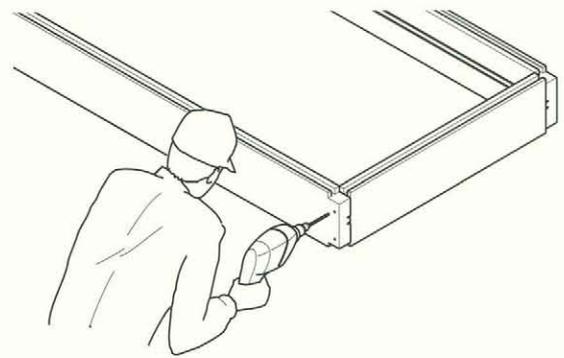
室内ドア(木造用・非木造用)①

■施工フロー

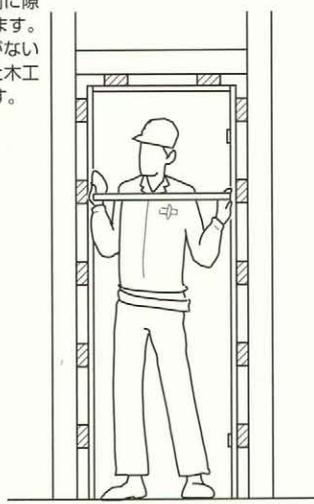
1 水準器・下げ振り等で開口部の水平・垂直を確認してください。



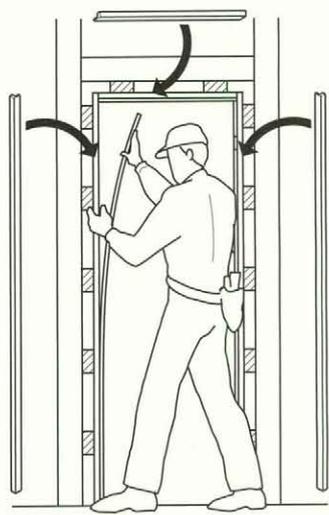
2 沓摺りを使用しない場合と埋込沓摺りを使用する場合は、縦枠下部をカットします。上枠・縦枠を組みます。薄沓摺りを使用する場合は、薄沓摺りを組みます。



3 枠と柱・間柱・まぐさとの間に隙間をつくり、かい木を入れます。枠定規で内法寸法に狂いがいか確認しながら、枠をねじと木工用ボンドで躯体に固定します。



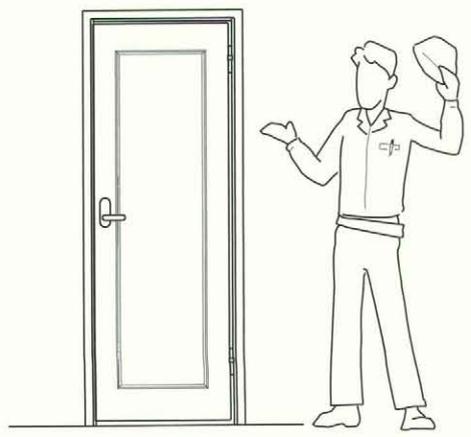
4 戸当たり部材を枠に木工用ボンドで接着し、ケーシングを木工用ボンドとかくし釘で取付けます。



5 本体に丁番を取付け、枠に吊込みます。



6 把手を取付け、最後に建付け調整を行ってください。



お願い

施工時の建具養生等、粘着テープ類の直貼りはお止め下さいますようお願い申し上げます。

建具類の表面シートはトップコートとよばれる表面強化により保護されています。ただし、粘着力の強いテープ(ガムテープ・養生テープなど)を長い時間、建具表面などに直貼りしますと、そのテープをはがす際、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。

商品の色は、印刷の特性上、実物とは多少異なる場合がございますのでご了承ください。
掲載価格には、消費税、ガラス代(ガラス組込商品を除く)、組立代、取付費、運賃等は含まれておりません。

商品特長 商品一覧
室内ドア
室内引戸
クローゼット ドア
戸襖
規格表
室内ドア
室内引戸
クローゼット ドア
戸襖
有償部品
特注 対応品
ガラス寸法
基本寸法 納まり図
組立施工説明 お手入れ方法
発注書
用語解説 索引

**商品特長
商品一覧**

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼット
ドア
- 戸襖

規格表

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼット
ドア
- 戸襖
- 有償部品

- 特注
対応品
- ガラス寸法
- 基本寸法
納まり図
- 組立施工説明
お手入れ方法
- 発注書
- 用語解説
索引

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。
- ▲注意 ……取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

■施工上のお願

- 枠取付けの際は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず木工用ボンドを併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に木工用ボンドを塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみ等の原因となります。(本説明書内で「現場手記」と記されている場合は除きます。)
- 枠組立て後、取付けまでの持ち運び時に、ゆがみ、ねじれ等のないよう注意してください。ゆがみ、ねじれ等があると、枠に割れが発生する恐れがあります。
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。

▲注意

- 扉の脱落の原因になるおそれがあるため、下記事項をお守りください。
- 指定のねじで丁番を締付け、必ずガタツキのないように固定してください。
- 本体吊込み後、手で枠側上丁番のレバーを回してください。
- 枠側上丁番のレバーが上まっていることを確認してください。

- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まくさとの間には必ず隙間をつくり、かい木を入れてください。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 番留り部の納め方に応じて縦枠を切断してください。
- ドアストッパーを壁に取付ける場合は、補強材が入っている事を確認してください。
- ※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しおき、施工完了後に吊込むことをお勧めします。

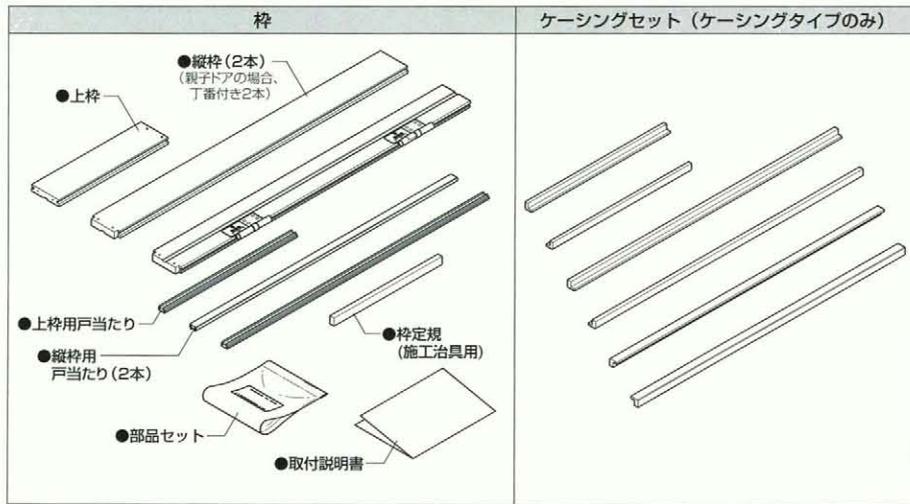
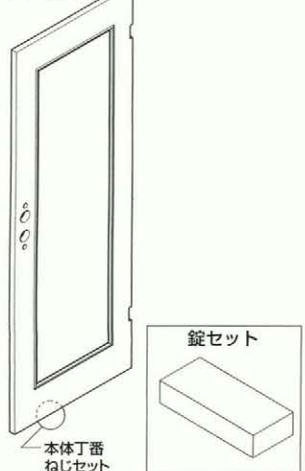
■縦枠の切断

薄番留り	切断不要
埋込番留り	切断 (12mm)
番留りなし	

■部品・部材の明細

(標準ドア・トイレドア・親子ドアの場合)

ドア本体



■枠セット明細

	標準ドア	トイレドア	親子ドア
縦 枠	2	2	2
上 枠	1	1	1
戸当たり	縦2・上1	縦2・上1	縦2・上1
枠定規	1	1	1

■部品セット

標準ドア・トイレドア用

DNビス(血木ねじ)φ3.8×65	27
-------------------	----

親子ドア用

DNビス(血木ねじ)φ3.8×65	27
フランス落とし受け	1
血木ねじφ3.5×13	2

※戸当たりストッパーセットは別売りです。

■ケーシングセット明細

上用ケーシング	2
縦用ケーシング	4

■本体丁番ねじセット(本体扉下部木口に同梱)

本体取付けねじ(皿タッピンねじφ4×20)	8
-----------------------	---

■錠セット

ハンドルセット	1組
台座セット	1組
台座取付けねじ(φ4×30)	2
ハンドル固定ねじ(φ4×16)	1

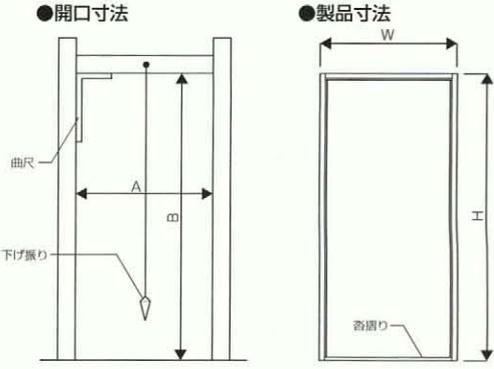
■取付け範囲(単位:mm)

	ケーシングタイプ		木造用ノケーシングタイプ			非木造用ノケーシングタイプ	
	薄壁用	厚壁用	NC156	NC171	NC180	NC90	NC115
対象壁厚	111~141	142~170	116~130	131~145	146~160	50~75	76~100

■開口部の確認

- 開口部の水平・垂直を確認してください。
- ※開口部寸法が右記寸法になっていることを確認してください。

開口寸法A	製品寸法W+5mm
開口寸法B	製品寸法H+10mm



室内ドア(木造用・非木造用)②

商品特長
商品一覧

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼットドア
- 戸襖

規格表

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼットドア
- 戸襖
- 有償部品

特注
対応品

ガラス寸法

基本寸法
納まり図

組立施工説明
お手入れ方法

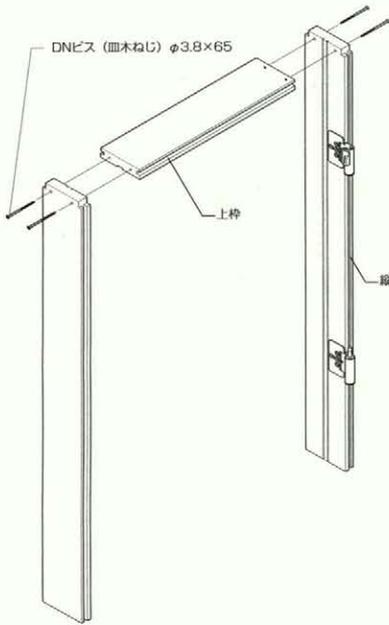
発注書

用語解説
索引

取付け順序

1 枠の組立て

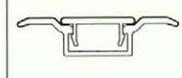
【番摺りを取付ける場合、及び縦枠を切断する場合】



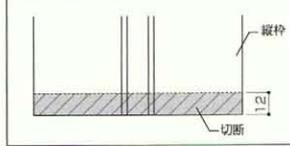
【床先張り(枠後付け)の場合】

※埋込番摺りセット(別売り)を使用してください。

●埋込番摺り



※縦枠(斜線部)を切断してください。



【床後張り(枠先付け)の場合】

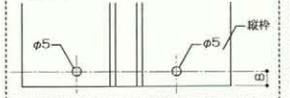
※薄番摺りセット(別売り)を使用してください。

●薄番摺り



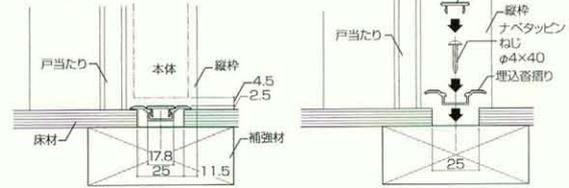
【A部詳細図】

※縦枠を切断せずに下穴をあけてください。



①補強材を必ず入れ、下図の位置に25mmあけて床材を張ります。
※躯体に縦枠を仮止めて位置出ししてください。

②埋込番摺りを、戸当たりには溝フタをあけて、ナベタッピンねじφ4×40で埋込番摺りを固定してください。

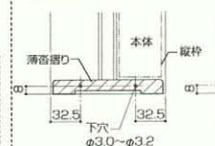


■標準・親子ドア・トイレドアの場合

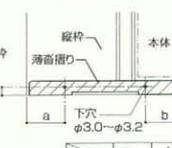
①縦枠の下端にφ5、薄番摺りにφ3.0~φ3.2、深さ20mm以上の取付け用下穴をあけます。
②薄番摺りを枠に組合わせます。
③組合わせ面が水平になるよう調整した後、縦枠側からDNビス(木木ねじ)3.8×50で薄番摺りを固定します。

【A部詳細図】

●ケーシングタイプ



●ノンケーシングタイプ



	a	b
木造用		
NC156	32.5	32.5
NC171	47.5	32.5
NC180	56.5	32.5
NC90	27.5	27.5
NC115	27.5	27.5
非木造用		

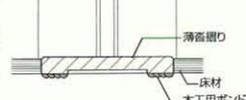
DNビス(木木ねじ)3.8×50
※この面を平らにしてください。

※下地材を付ける場合にも、縦枠と薄番摺りの下面を合わせてください。

■躯体への取付け方

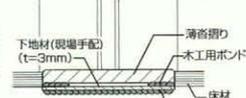
●床材厚さ12mm

※必ず薄番摺りに木工用ボンドを付け、躯体に固定してください。



●床材厚さ15mm

※必ず薄番摺りと下地材に木工用ボンドを付け、躯体に固定してください。

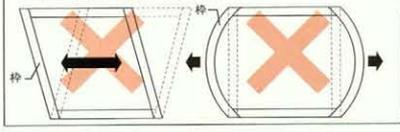


■番摺りを使用しない場合

●ドア下端のチリを標準7mmとし、床部の納め方に合わせて縦枠を(12mmまで)切り詰めます。

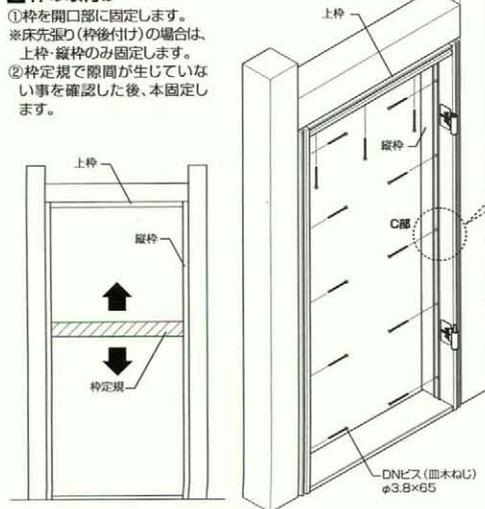


■お願い
●枠の組立てを何度もくり返さないでください。ガイド穴が大きくなり、保持力を低下させます。
●ガイド穴にゴミ等が入らないよう注意してください。
●枠組立て後、揺らす・引張る等の無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

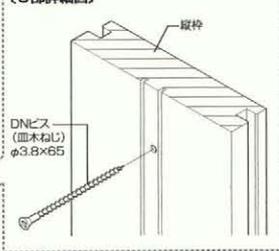


2 枠の取付け

①枠を開口部に固定します。
※床先張り(枠後付け)の場合は、上枠・縦枠のみ固定します。
②枠定規で隙間が生じていない事を確認した後、本固定します。

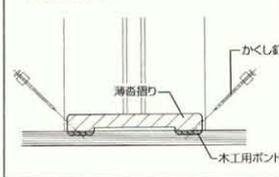


【C部詳細図】



【床後張り(枠先付け)の場合】

●薄番摺りは木工用ボンドを塗布し、かくし釘等で固定します。

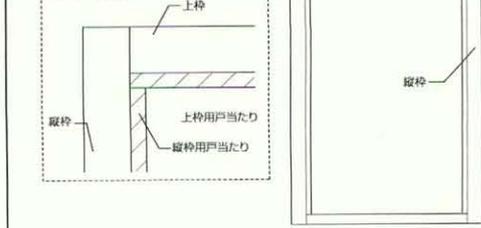


3 戸当たりの取付け

①現場で戸当たりの寸法を合わせます。
②戸当たりの裏面に木工用ボンド(現場手配)をつけ、固定してください。
※戸当たりは、埋込番摺りより先に取付けてください。
※上枠用→縦枠用の順に取付けてください。
※埋込番摺り以外の番摺りを使用する場合は、縦枠用戸当たりを現場に合わせて切詰めてから取付けてください。

■お願い
ハンマーなどで直接たたかないでください。

【D部詳細図】



商品特長
商品一覧

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼット
ドア
- 戸襖

規格表

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼット
ドア
- 戸襖
- 有償部品

特注
対応品

ガラス寸法

基本寸法
納まり図

組立施工説明
お手入れ方法

発注書

用語解説
索引

4 ドア本体の取付け

※建築工事中は、ドア本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをお勧めします。

①ドア本体に扉側丁番を皿タッピンねじφ4×20（本体扉下部木口に同梱）で取付けます。

（A・A'部）

※ドア本体は左右兼用です。取付けの際は、ドア本体の上下を確認してください。

②枠側上丁番のレバーを下げながら回します。（B部）

※レバーが動かなるまで回してください。

③扉側下丁番を、枠側下丁番に差込みます。（C部）

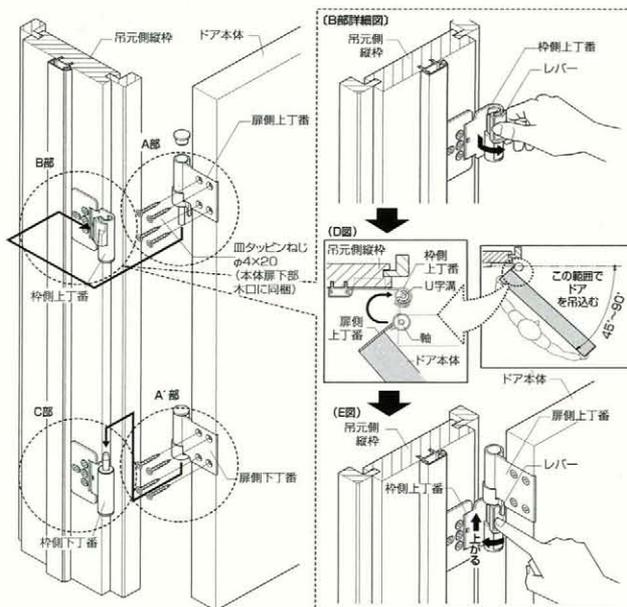
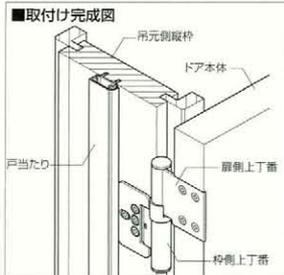
④ドア本体の開き角度が、45°～90°の範囲で扉側上丁番の軸を枠側上丁番のU字溝にはめ込み、ドア本体を吊込みます。（D図）

⑤手でレバーを回して閉めます。（E図）

※閉まると、レバーが枠側上丁番の上端まで上がります。

※扉を吊込んだ後、レバーが上がっていることを確認してください。

- ▲注意**
- 丁番固定ねじの締忘れ・ゆるみ等は、本体脱落の原因になります。調整後本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっている事を確認してください。
 - 扉を吊込んだ後、枠側上丁番のレバーが上がっていることを確認してください。レバーが上端まで上がっていないと、本体が脱落するおそれがあります。



5 把手の取付け

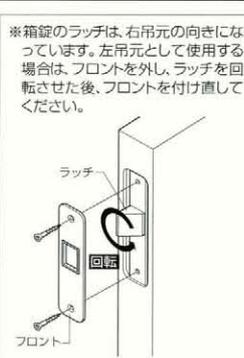
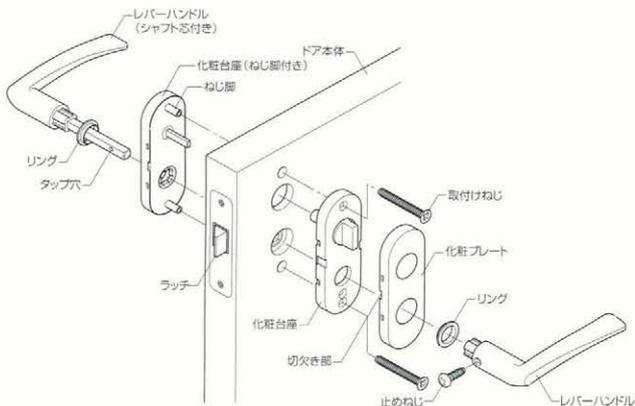
①化粧台座を室内・外から組合わせ、ねじで仮止めします。

②レバーハンドルを両側から差込み、レバーハンドルが軽く回転することを確認した後、化粧台座をねじで本締めします。

③いったんレバーハンドルを抜き、化粧プレートをはめ込みます。

④レバーハンドルを差込み、ねじで固定します。

※化粧プレートを外す時は、切欠き部にマイナスドライバーを差込んでください。



※箱錠のラッチは、右吊元の向きになっています。左吊元として使用する場合は、フロントを外し、ラッチを回転させた後、フロントを付け直してください。



6 ケーシング材の取付け

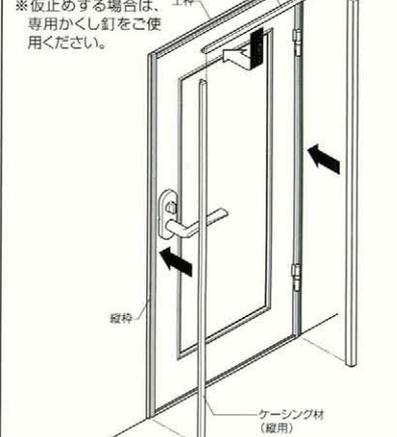
※壁材・床材を仕上げてからケーシング材を取付けてください。

①別冊のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。（上ケーシングは枠に合わせてあらかじめカットしてあります。）

②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。

③ケーシング溝とケーシング材裏面に木工用ボンド（現場手配）を塗布し、ケーシング材を固定します。

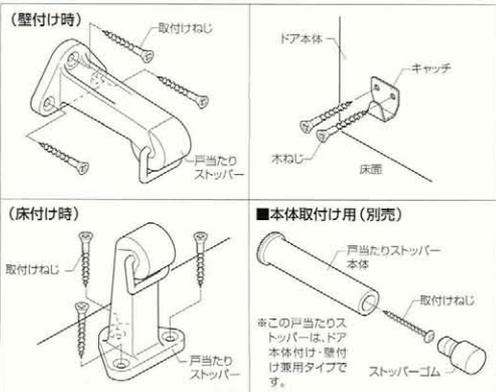
※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



7 戸当たりストッパーの取付け

■床取付け用（別売）

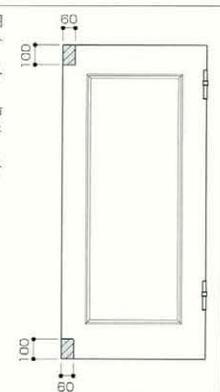
※この戸当たりストッパーは、床付け・壁付け兼用タイプです。



【本体取付け用戸当たりストッパー及び、キャッチの取付け範囲】

※下図の斜線範囲内に戸当たりストッパー本体又は、キャッチを取付けてください。

※壁付け、床付け戸当たりは、キャッチの位置に合わせて、壁又は床に取付けてください。

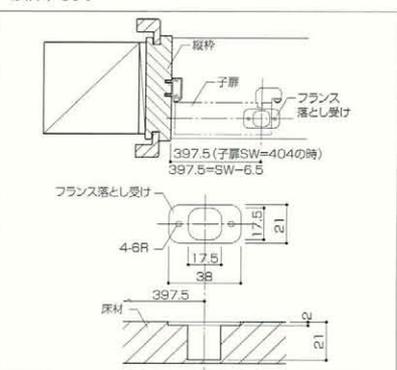


8 フランス落とし受けの取付け

①下図に従い床面を加工します。

②フランス落とし受けを床面にはめ込み、木ねじで取付けます。

※専用の番搾りを使用する場合は、フランス落とし受けは取付け済みです。



室内ドア(木造用・非木造用)③

商品特長
商品一覧

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼット
ドア
- 戸襖

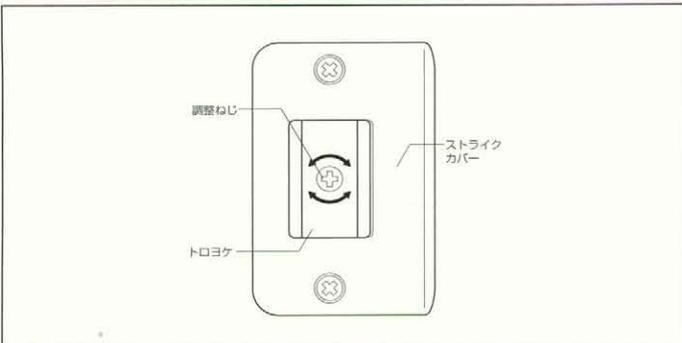
規格表

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼット
ドア
- 戸襖
- 有償部品
- 特注
対応品
- ガラス寸法
- 基本寸法
納まり図

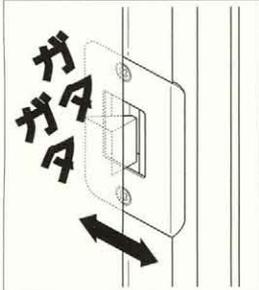
組立施工説明
お手入れ方法

- 発注書
- 用語解説
索引

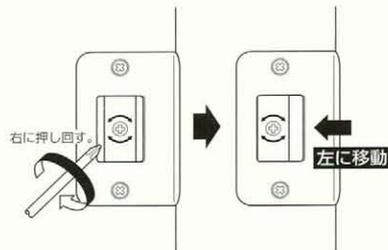
■ 建付け調整 (ストライクによる調整)



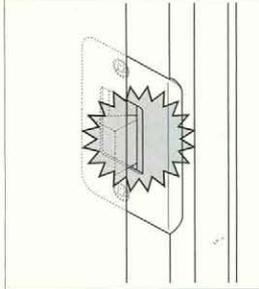
1 ラッチがストライクの中でガタつく



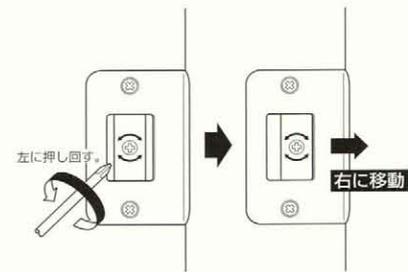
●調整ねじを押しながら、右に回してください。無段階で移動します。



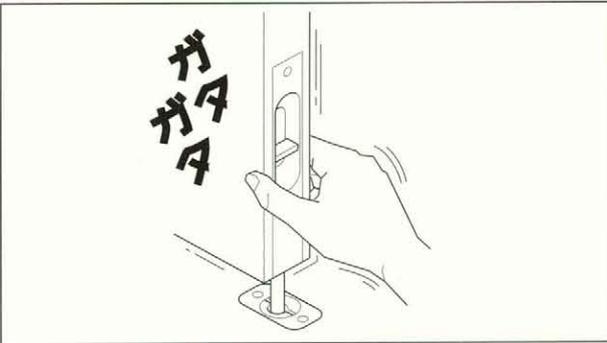
2 ラッチがかからない



●調整ねじを押しながら、左に回してください。

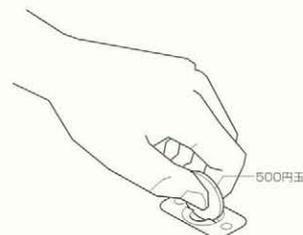


■ 子扉のガタつき調整 (フランス落とし受けによる調整)

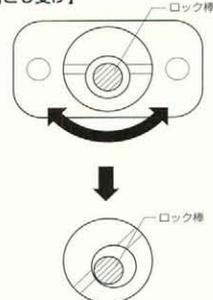


1 子扉がガタつく。

①コイン等で穴部分を回転させ、ロック棒をフランス落とし受けの内側に当てるようにしてください。



【フランス落とし受け】



▲ 注意
● 丁番固定ねじの締め忘れ・ゆるみ等は、本体脱落の原因になります。調整後、本体・枠への固定ねじおよび丁番本体の止めねじが必ず締まっている事を確認してください。

■ お願い
※調整完了後、ドア本体を開閉して下記事項を点検してください。(異常があった場合、再度調整してください。)
● 戸当たりと枠の間に隙間がなく、戸当たり取付け溝に安全にはまっているか。
● 枠側上丁番のレバーが上まで上がっているか。
● ドア本体が、枠にぶつからないか。
● ドア本体のラッチが、ストライクから外れないか。
● ドア本体のラッチが、ストライクの中でガタつかないか。

商品特長
商品一覧

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼット
ドア
- 戸襖

規格表

- 室内ドア
- 室内引戸
- クローゼット
ドア
- 戸襖
- 有償部品

特注
対応品

ガラス寸法

基本寸法
納まり図

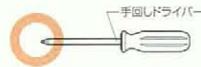
組立施工説明
お手入れ方法

発注書

用語解説
索引

■建付け調整 (丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
※本製品は、ドアを開め、建付け状態を目で確認しながら調整できます。
※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



調整項目	不具合例	調整方法	不具合例	調整方法
上下の調整 ●扉側下丁番で調整します。 ●調整幅は、上(3mm)、下(2mm)です。	1. ドアの上部が枠に当たる。	①扉側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。 ③キャップをはめる。	2. ドアの下部が枠に当たる。	①扉側下丁番のキャップを外す。 ②上下調整ねじを右に回しドアを上げて位置を決める。 ③キャップをはめる。
左右の調整 ●枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。 ●調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に2.5mmです。	1. ドアの開き側が枠に当たる。	①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。	2. ドアの開き側の隙間が大きすぎる。	①固定ねじをゆるめる。 ②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。 ③固定ねじを締める。
前後の調整 ●枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。 ●調整幅は、前(2mm)、後(2mm)です。	1. 開き側の枠が前に出ている。	①固定ねじをゆるめる。 ②前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。 ③固定ねじを締める。	2. 吊元側の枠が前に出ている。	①固定ねじをゆるめる。 ②前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。 ③固定ねじを締める。